

米国の都市の子供の遊び

USIS

何処の国の子供もゲーム遊びが好きです。遊び道具と名の付くようなものがない時でも子供達は棒切れや石やその他何でも見つけたものでいろいろのゲームを工夫します。

アメリカの都市ではゲーム遊びは子供達の生活から離せないものです。すべての大きな都市、又多くの小さな都市に、管理された児童遊園センターがありますが、多く子供達ははすっととっとり早く自分達の家の近くでゲームをして遊ぶことも好きです。都会では自動車や歩行者の交通が激しく、空地が少ないので、都会の子供のよく遊ぶゲームは大抵、最少限の空間と材料で出来るようなもの

です。一個のボールやびんの蓋や、或いはコンクリートの道路の上に二、三本線を引ただけで出来るようなゲームが一般によく遊ばれるようです。

此処に掲げる写真は、アメリカの子供達の最もよく遊ぶゲームの中の幾つかです。



二

が、そういうゲームは大抵何かたやすく手に入る物を一緒に使います。「スカリ」では、清涼飲料水の罐のふたの使い古しを uses。それを人指し指ではおいで、番号をうったますの中に打ちこみます。それが得点になって、相手と競争するわけです。



男の子達がよく遊ぶ遊び。

「スカリ」と呼ばれるところのゲームは、アイルランド語です。もとはアイルランド人が発明した遊びなのでしようか、誰も確実なことは知らないようです。

平らな地面に白墨で線をひいて遊びます

「チャックス」と呼ばれる所の遊びは、年少の女の子の遊びと云えます。写真の手前に見える「チャックス」は、小さな金属で全国どこでも小さな店で安くて買えます。

この遊びでは、ゴムまりを弾ませて、その

間にチャックスを拾い上げ（十まで拾います）まりが地面につく前にまりを受けとります。最初の回は、一つのチャックスを拾いそれから二つ、三つ四つという風にだんだん沢山拾ってゆきます。片方の手だけ用います。失敗じつたら、相手の人に代ります。



「インディアン・レスリング」は体力の競争なので、男の子に喜ばれます。相手のバランスを破って、右足を動かさせるのが

このゲームの目的です。三日やって二回勝った人が勝ちです。

「縄とび」は極めて一般的です。

この写真では、二人の女の子が同時に縄が足につかないように跳んでいます。こういう材料と空間の要らないようなゲームがアメリカの大都会での一般的遊びです。



「リーダーのやる通りに」は子供達に大変面白がられて、一般的な遊びです。一人がリーダーに指名されて、その子供がいろいろの行動をしますと。あとの子供達が丁度

同じようにまねをします。今、土管の中から出て来た子供がこのゲームのリーダーです。後から皆がついて来ます。リーダーのやる通りに出来なかつた子供は除けられて新しいリーダーが出来るまで待ちます。



その他、かくれんぼ、馬とび、石けりなどもよく遊ばれる遊びです。

（米國大使館文化交流局）